



「ありがとう備中町」ふるさと祭り開催 (9月26日 長谷やすらぎの里多目的広場)

旧備中町として最後となる「ふるさと祭り」が開催されました。メインステージでは、舞踊や神楽などが熱演され、恒例の子育て支援チャリティオークションやカラオケなどがあり、テント村では、各種バザーや文化祭などの催しが盛大に行われました。備中太鼓の勇壮なステージで締めくくられました。

～まちかど広場～ オープン (9月29日 栄町商店街)

高梁市は、高梁市栄町商店街の空き店舗を改装し、住民が気軽に立ち寄って交流できるサロン「まちかど広場」をオープンしました。高齢者や障害者、児童などのふれあいの場として、またサークル活動・趣味の会などに利用できます。開設は午前10時～午後6時。管理運営は高梁栄町商店街振興組合が行います。



熱戦が繰り広げられた運動会 (10月3日 スポーツパークうかん)

有漢地域を8つの地区に分け地区対抗の町民運動会が開催されました。あいにくの肌寒い天気の中で行われましたが、リレーや綱引きなどに熱戦が繰り広げられました。種目は、競技性の高い得点種目と、みんなで楽しむ一般種目の2種類に分けて、幼児から高齢者まで多くの町民が楽しみました。

You・農・遊フェス～多彩な催し～ (10月3日 巨瀬小学校運動場ほか)

「備中たかはしYou・農・遊フェスティバル in ナチュラルパークこせ」が開かれ、獅子舞や備中神楽、地元野菜・加工品の即売に大勢の家族連れが詰めかけにぎわいました。

特設ステージでデカレンジャーショーが始まると子どもたちは、ヒーローに精一杯声援を送っていました。また30mの「長巻き寿司作り」もあり、みごと完成させた後、会場のみんで巻き寿司をほおばりました。



世界のぶどう園 (9月10日～9月26日 川上町世界のぶどう園)

川上町の秋の風物詩「世界のぶどう園」が、9月10日から26日まで開園。期間中3,574人が来園し世界15か国59品種の珍しいぶどうを堪能しました。同ぶどう園の開園は、今年で11年目。

10日のオープン式でテープカットをした川上幼稚園高橋風紗ちゃん(川上町地頭)は、「緑色のぶどうがとてもおいしくて、分かんないくらいたくさん食べました」とうれしそうに話していました。



中秋の名月を宴とともに ～月見の宴～ (9月11日 成羽町美術館流水の庭)

今年で16回目の開催となる「月見の宴」。会場には、町内外から多くの方が詰め掛け、ふけゆく秋の観月とともに琴や尺八の音色を楽しみました。流水の庭水面に設けられたステージのほか水面には、かがり火やろうそくが映り、ススキが風にそよぐ優雅な風情の中、来場者は吉備楽や狂言に風雅なひと時を過ごしました。

安心安全なまちづくりを目指して (9月15日 川上町総合学習センター)

川上町で、自主防犯組織「地域安全ネットワークかわかみ」が発足しました。この組織は、主に独り暮らしのお年寄りを悪質な訪問販売やオレオレ詐欺などの犯罪から守ることを目的に、川上町の地域安全推進員、少年警察協働員、民生・児童委員らが中心となって結成されました。同組織は、警察や行政と連携して、独居老人宅を訪問しての呼びかけやチラシの配布などで、被害の防止を図っていきます。



幻想的なムードに包まれて (9月19日 頼久寺)

備中国奉行小堀遠州を顕彰する「小堀遠州の世界2004頼久寺ガーデンコンサート」(高梁商工会議所など主催)が開催されました。倉敷アカデミアンサンブルのメンバー5人が弦楽五重奏によるクラシックなど約10曲を演奏。幻想的な雰囲気の中美しいメロディが響きわたり、約100人の来場者はうっとりとした表情で秋の一夜を過ごしていました。